

広報 じんじゅ

平成 29 年 7 月 1 日発行 第 26 号

〒690-2705

雲南市掛合町松笠 2154-1

TEL 0854-62-1500

FAX 0854-62-1501

E-mail : jingu@orange.ocn.ne.jp

URL : <http://www.jingu.or.jp>

平成 28 年度 事業・決算報告 特集



目 次

1 総 括	-----	1 ~2
2 法人の状況	-----	3 ~9
3 施設の利用状況	-----	10~17
4 共同生活援助事業	-----	18~19
5 就労継続支援事業	-----	20
6 地域生活支援事業(公益事業)	-----	21
7 その他	-----	22

事業報告書

1 総括

平成 28 年度は前年度から空席でありました事業課長を異動により配置をいたしました。また、若干の人事異動を行い各事業間の連携強化と活性化を図りました。

入所施設支援事業における利用者の平均年齢は 50.7 才ですが、年齢構成は 10 代後半から 80 才代と幅広く、さらに平均障害支援区分は区分 5 を超えていることや、支援内容も高齢層や若年層、重度者で異なることから、個々のニーズを明確に把握し、能力や特性に配慮した個別支援計画のもと、医療機関との連携を保ち、健康で豊かな住まいの場の提供に努めました。

グループホーム ヴィラサクラでは、平成 27 年度から検討を重ねてまいりました ヴィラ古城と ヴィラかじかの廃止と定員変更について、8 月理事会での承認を得、定員を 33 名から 25 名に変更しました。利用者の高齢化は進んでいますが、“いつまでも地域の中で暮らしたい”というニーズは強く、今後は生活支援員や夜間支援員を配置する介護包括型グループホーム（グループホーム山楽園）の需要が高まってくると予想されます。

生活介護事業と地域活動支援センター事業では、創作活動と生産活動など日中活動の充実に努めました。特に創作活動班では、島根県障害者アート作品展に女性を描いたコラージュを出展した利用者が銀賞に輝きました。

就労継続支援事業では、40 名の定員で運営していましたが、長期にわたる定員割れと利用者の加齢に伴う作業効率の低下、今後の利用希望等を勘案するなかで、定員削減と作業科の再編について検討する必要があると考え、検討委員会を立ち上げました。委員会では定員削減後の利用者の処遇、作業内容と職員配置の見直し等について検討し、定員は 20 名、実施する作業は食品加工科と農林課の 2 科とし、パン工房“むくげ”と受託科については生活介護の活動に移行させることといたしました。このことについては、12 月理事会で承認を受け、利用者と家族への説明と同意のもとに平成 29 年度から実施いたします。

相談支援事業では、圏域内の在宅障害者を中心に訪問を重ね、障害者やその家族等からの相談に応じ、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。

平成 29 年 4 月 1 日から改正社会福祉法が施行されます。この改正の中身は社会福祉法人制度の改革にあり、①経営組織の在り方の見直し、②事業運営の透明性の向上、③財務規律の強化、④地域における公益的な取組を実施する責務の規定、⑤内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下、⑥行政の関与の在り方、が大きなポイントとして掲げられました。特に①経営組織の見直しにつきましては、今まで諮問機関でありました評議員会が、法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的な監督を行う機関として位置づけられ、必置の議決機関となりました。経営組織の見直しを実施するためには定款を改正する必要があると、県の関係部局と協議を重ねながら改正案を作成、12 月の理事会で上程し承認を受けました。この度の改正法では、新しい評議員を選任するためには評議員選任・解任委員会を設置することが必要であると規定されています。評議員選任・解任委員会には当法人の監事である竹下紘一様、木色多寿子様、また、事務局長の小村重美、

功様に就任をいただき、1月24日に委員会を開催し、12名の新しい評議委員の選任を行いました。また、④の地域における公益的な取組を実施する責務とは、社会福祉法人は社会福祉事業及び公益事業を行うに当っては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料または低額な料金でサービスを提供するよう努めなければならないと改正法で規定されています。雲南市では雲南市社会福祉協議会が中心となり、高齢者支援、障害者支援、子育て支援に関わる市内14の法人による雲南市社会福祉法人連絡会を立ち上げ、会員法人が協働してこれに取り組むことといたしました。連絡会の会長には当法人の竹下三郎理事長が就任いたしました。

平成28年7月には神奈川県相模原市の障害者支援施設で利用者の大量殺人事件が発生いたしました。仁寿会では事件後の利用者やご家族の動揺と心の痛みのケアに努めるとともに、職員を対象とした防犯講習会の開催、防犯カメラと110番直通の非常連絡装置の設置を行い、安心安全な住まいの場の確保に努めました。

財政的には、法人全体として、収入総額が447,943千円で3,244千円の当期活動収支差額を得ることができました。経理区分別にみますと、共同生活援助事業に13,054千円の不足が生じ、障害者支援施設拠点区分から拠点区分間繰入により補填し、決算をしている状況です。このことは、予算編成時よりの予定でありまして、そのように予算を組んではいるものの、余裕のある事業と不足する事業が顕著な状況であります。

また、当期末における支払資金残高は、262,796千円であり、資金運用上の不便は発生しておりません。

4月1日には仁寿会恒例の始業式を予定しておりましたが、直前になって入所施設でインフルエンザが発生し、止む無く開催を中止といたしました。最後に感染した利用者が完治したのが5月の連休明けということで、改めて集団生活における感染症の予防と対策の難しさを感じたところです。

仁寿会のビッグイベント「ここおやし祭り」は、10月23日に松笠振興協議会を中心とした地域の皆様に支えられ盛大に開催することができました。正面玄関を特設ステージとして太鼓演奏や歌・踊りの発表、駐車場では地元の松笠そば、女性部、長寿会、青年団の皆様やご家族の小村様等のご協力により模擬店が出店され、また、訓練棟では松笠地区有志の皆様と仁寿会利用者による作品の展示を行いました。当日は天候にも恵まれ、利用者やご家族、地域の皆様で大変に賑わいました。

家族会の皆様には施設及び事業所の環境整備として周辺の草刈と除草作業、居住棟の窓拭き等の労力奉仕をしていただき、快適な環境で生活を送ることができました。また、老朽化した公用車を家族会からのご寄付により更新することができ、有効利用をさせていただいております。

今年度も引き続き、生け花教室の講師として福田明美先生、書道クラブの講師として佐野孝山先生にご指導いただきました。お二方には利用者の日中及び余暇活動の充実のためにボランティアでご指導をいただき感謝申し上げます。

平成28年度もご家族の皆様、地域の皆様等のご支援とご協力のもとに、安定した事業運営を行うことができましたことをご報告申し上げます。

2 法人の状況

- 1 理事数 9名
- 2 評議員数 19名
- 3 理事会の開催状況

回	開催年月日	主な議案
1	平成28年5月28日	平成28年度事業の執行状況について 平成27年度 事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の認定について
2	平成28年8月27日	平成28年度事業の執行状況について グループホームヴィラサクラ（外部サービス利用型共同生活援助）運営規程の一部改正について 平成28年度 社会福祉法人仁寿会 第1次補正予算について
3	平成28年12月24日	平成28年度事業の執行状況について 社会福祉法人仁寿会定款の全部改正について 評議員選任・解任委員会に関する規程の制定について 評議員選任・解任委員会の外部委員の選任同意について 評議員選任・解任委員会の招集について 評議員候補者の推薦同意について 就労継続支援事業所山光園運営規程の一部改正について 社会福祉法人仁寿会育児・介護休業に関する規則の一部改正について
4	平成29年3月18日	平成28年度事業の執行状況について 評議員選任・解任委員会の報告について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 事業計画について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 会計予算について

4 評議員選任解任委員会の開催状況

回	開催年月日	主な議案
1	平成29年1月24日	社会福祉法人仁寿会 評議員の選任について

5 評議員会の開催状況

回	開催年月日	主な議案
55	平成28年5月28日	平成28年度事業の執行状況について 平成27年度 事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の認定について
56	平成28年8月27日	平成28年度事業の執行状況について グループホームヴィラサクラ（外部サービス利用型共同生活援助）運営規程の一部改正について 平成28年度 社会福祉法人仁寿会 第1次補正予算について
57	平成28年11月5日	定款変更、評議員、理事の選出作業について 社会福祉法人仁寿会定款（案）について 新評議員について
58	平成28年12月24日	平成28年度事業の執行状況について 社会福祉法人仁寿会定款の全部改正について 評議員選任・解任委員会に関する規程の制定について 就労継続支援事業所山光園運営規程の一部改正について 社会福祉法人仁寿会育児・介護休業に関する規則の一部改正について
59	平成29年3月18日	平成28年度事業の執行状況について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 事業計画について 平成29年度社会福祉法人仁寿会 会計予算について

6 監査及び検査の状況

開催日時	区分	内容
平成28年5月16日	監事監査	平成27年度分 理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況監査 各会計の決算監査 業務執行の状況及び財産の管理状況監査
平成28年9月21日	内部監査	公印・通帳の保管、寄付金、支払、小口現金、入所者預り金、物品、収入、契約、財務諸表開示等の項目についての執行状況の確認（8月末日まで）
平成29年3月15日	内部監査	公印・通帳の保管、寄付金、支払、小口現金、入所者預り金、物品、収入、契約、財務諸表開示等の項目についての執行状況の確認（2月末日まで）

7 資産の状況

資 産 の 部				
	内 容	当 年 度	前 年 度	増 減
流動資産	現金、預金、売掛金、商品・製品、仕掛品、原材料、仕掛品、未収金、貯蔵品、立替金、前払金、仮払金	272,923,261	262,317,634	10,605,627
固定資産		670,094,953	695,773,850	△25,678,897
基本財産	建物、土地	569,614,740	592,112,510	△22,497,770
その他の固定資産	建物、構築物、車輛運搬具、器具及び備品、投資有価証券、人件費積立預金、修繕費積立預金、備品購入積立預金、施設整備等積立預金、工賃平均積立預金、	100,480,213	103,661,340	△3,181,127
資産の部合計		943,018,214	958,091,484	△15,073,270
負 債 の 部				
	内 容	当 年 度	前 年 度	増 減
流動負債	未払金、預り金、仮受金	26,557,185	25,771,605	785,580
固定負債	設備資金借入金、賞与引当金	32,666,000	36,098,000	△3,432,000
負債の部合計		59,223,185	61,869,605	△2,646,420
純 資 産 の 部				
	内 容	当 年 度	前 年 度	増 減
基本金	基本金	153,584,900	153,584,900	0
国庫補助等特別積立金	国庫補助等特別積立金	255,517,335	271,188,942	△15,671,607
その他の積立金	人件費積立金、修繕積立金、備品購入積立金、施設整備等積立金、工賃平均積立金	65,132,911	65,032,911	100,000
次期繰越活動増減差額		409,559,883	406,415,126	3,144,757
(うち当期活動増減差額)		(3,244,757)	(11,733,308)	(△8,488,551)
純資産の部合計		883,795,029	896,221,879	△12,426,850
負債及び純資産の部合計		943,018,214	958,091,484	△15,073,270

8 職員の状況

29年3月31日現在 ()兼務職員 単位:人

前年度合計職員数 76人

職 種 別	法人本部	障害者 支援施 設 山楽園	短期入 所 事業所	共同生 活援助 事業所 グループホ ーム グアイサクラ	共同生 活介護 事業所 グループホ ーム山楽 園	相談支 援事業 所 山楽園	就労継 続支援 事業所 山光園	地域活 動支援 事業	合 計
施 設 の 長	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1
事 務 局 長	1								1
庶 務 課 長	1								1
事 業 課 長	1								1
相談支援事業所長						1			1
医 務 室 長	1								1
嘱 託 医		1							1
支 援 ・ 指 導 員		17	(2)		2		3		22
看 護 師		1	(1)						1
介 助 員		3			3	1	4	(2)	11
栄 養 士	1	(1)	(1)				(1)	(1)	1
調 理 員	4	(4)	(4)		2		(4)	(4)	6
事 務 員	3	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	3
警 備 員		3	(2)		3				6
相談支援専門員						(1)			
サービス管理責任者		(1) 1		1	1		1	1	5
世 話 人				6	3				9
運 転 手		(2)					2		2
合 計	13	(12) 26	(14) 0	(4) 7	(4) 14	(5) 2	(9) 10	(11) 1	73

9 支援費等（利用者負担金を含む）の収入状況

単位：千円

年 度	障害者支援施設 山楽園	就労継続支 援事業所 山光園	グループホーム ウイラクラ	グループホーム 山楽園	相談支援事 業所 山楽園	地域生活支 援事業	合 計
H21 年度	409,347	0	30,415	0	0	0	439,762
H22 年度	367,783	0	39,276	0	0	0	407,059
H23 年度	264,912	45,050	45,701	13,404	0	0	369,067
H24 年度	276,728	54,147	46,971	50,356	574	8,865	437,641
H25 年度	281,554	54,079	46,345	51,483	2,627	8,213	444,301
H26 年度	282,871	52,289	41,579	52,229	3,436	18,362	450,766
H27 年度	277,661	47,752	33,441	57,724	3,347	14,642	434,567
H28 年度	279,357	43,825	29,453	55,983	2,975	14,081	425,674
前年比較	1,696	△3,927	△3,988	△1,741	△372	△561	△8,893

※障害者支援施設山楽園の平成 23 年度以前は、旧法更生施設及び授産施設の合算額である。

10 預かり金の状況

単位：千円

年 度	利 用 人 数	預かり金総額	最 高 額	最 低 額	平 均
平成 25 年度	81 人	91,995	8,382	5	1,136
平成 26 年度	82 人	96,455	7,448	5	1,190
平成 27 年度	83 人	97,340	7,554	7	1,172
平成 28 年度	78 人	90,524	7,840	12	1,161

管理責任者：施設長

通帳保管者：支援担当者

印鑑保管者：事業課長

預金現金移動者：出納員

11 補助事業の状況

単位：円

補助事業名	補助金の額	自主財源等の額	合 計
独立行政法人 福祉医療機構 施設整備借入金 島根県利息補給金	9,600	7,920	17,520
独立行政法人 福祉医療機構 施設整備借入金 島根県元金補給金	400,000	330,000	730,000
雇用開発助成金（ ）	0	0	0
合 計	409,600	337,920	747,520

1 2 職員研修の状況

研 修 の 名 称	開 催 日 時	場 所	研修者数
福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者）	6月1日～2日	松江市	1
平成28年度食品適正表示研修会	6月16日	松江市	1
社会福祉法人経営者セミナー	6月29日	出雲市	3
平成28年度福祉職員キャリアパス生涯研修	6月29日～30日	松江市	3
平成28年度雇用管理改善セミナー	7月6日	松江市	1
相談支援従事者初任者研修会	7月12日～13日	松江市	5
女性の活躍を推進するための説明・相談会	7月19日	松江市	1
平成28年度社会福祉法人会計実務研修	7月19日	出雲市	1
キャリアパス研修【チームリーダーコース】	7月28日～29日	松江市	1
相談支援従事者初任者研修	8月23日～25日	出雲市	5
社会福祉法人制度改革説明会	10月3日	出雲市	3
障がい福祉サービス経営セミナー	10月19日	出雲市	1
苦情解決研修会	10月24日	松江市	7
就労支援事業説明会	10月25日	松江市	2
改正育児、介護休業説明会	10月27日	出雲市	1
高齢重度障がい者の生活支援セミナー	10月31日	松江市	2
社会保険委員研修会	11月7日	松江市	1
サービス管理研修会（共通講義）	11月9日	出雲市	5
法人経営者セミナー	11月17日	出雲市	2
サービス管理責任者会（介護）	12月7日～8日	松江市	5
就労サービス管理責任者研修会	1月11日～12日	松江市	1
社会福祉法人地域公益活動推進セミナー	2月7日	出雲市	2
平成28年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	2月7日～8日	松江市	3
平成28年度人権・権利擁護研修	2月14日	出雲市	1
平成28年度障害者相談支援事業連絡協議会	2月17日	出雲市	2
平成28年度社会福祉法人役員セミナー	2月17日	松江市	1
平成28年度部会協議会	3月1日～3日	東京	1
平成28年度島根県就労移行支援者等研修会	3月7日	松江市	1
施設内研修【障がい者虐待の実態と障がい者虐待防止の取り組み】	1月20日	仁寿会	26
普通救命講習会	2月16日～24日5日間	仁寿会	71
新任職員施設内研修	採用時に実施	仁寿会	7

1 3 委員会の開催状況

1) 社会福祉法人仁寿会 労働安全衛生委員会

開催日時：毎月1回 16:00より開催

場所：山楽園 事務室

参加委員：本多掛合診療所医師、施設長、事務局長、庶務課長、事業課長、医務室長、就労
継続支援事業所サービス管理責任者

内容：職員の職場における危険及び健康障害の把握、労働災害の未然防止に関する事項

2) その他委員会等の開催状況

- ・入所退所判定会議 14回開催
- ・防災委員会 2回開催
- ・感染症対策委員会 6回開催
- ・虐待防止対策委員会 随時開催
- ・個人情報管理委員会 無開催
- ・保健委員会 随時開催
- ・食事サービス委員会 随時開催
- ・身体拘束ゼロ推進委員会 11回開催
- ・セクシャル・ハラスメント防止対策委員会 無開催
- ・危機管理委員会 1回開催

1 利用者の状況

平成 28 年度月別利用者数

単位：人

事業区分		施設入所 支援	生活介護	短期入所	就労継続 支援事業 所 山光園	グループホーム ウイザクラ	グループホーム 山楽園	日中一時 支援事業	地域活動 支援セン ター
月	定員	57	80	4	40	25	28	10	15
4月	利用者数	56	79	4	33	22	28	1	4
	利用率	98.2%	98.8%	100%	82.5%	88.0%	100%	10.0%	26.6%
5月	利用者数	56	79	6	33	22	27	1	4
	利用率	98.2%	98.8%	150%	82.5%	88.0%	96.4%	10.0%	26.6%
6月	利用者数	56	78	6	33	22	26	1	4
	利用率	98.2%	97.5%	150%	82.5%	88.0%	92.8%	10.0%	26.6%
7月	利用者数	57	79	6	32	22	27	1	4
	利用率	100%	98.8%	150%	80.0%	88.0%	96.4%	10.0%	26.6%
8月	利用者数	57	80	7	32	22	26	1	4
	利用率	100%	100%	175%	80.0%	88.0%	92.8%	10.0%	26.6%
9月	利用者数	57	80	6	31	22	26	1	4
	利用率	100%	100%	150%	77.5%	88.0%	92.9%	10.0%	26.6%
10月	利用者数	57	80	7	32	22	27	1	4
	利用率	100%	100%	175%	80.0%	88.0%	96.4%	10.0%	26.6%
11月	利用者数	56	78	5	32	22	27	0	4
	利用率	98.2%	97.5%	125%	80.0%	88.0%	96.4%	0%	26.6%
12月	利用者数	57	79	5	32	22	26	0	4
	利用率	100%	98.8%	125%	80.0%	88.0%	92.8%	0%	26.6%
1月	利用者数	57	77	6	31	22	25	0	4
	利用率	100%	96.2%	150%	77.5%	88.0%	89.2%	0%	26.6%
2月	利用者数	56	76	5	32	21	24	0	3
	利用率	98.2%	95.0%	125%	80.0%	84.0%	85.7%	0%	20.0%
3月	利用者数	57	77	5	30	21	24	0	3
	利用率	100%	96.2%	125%	75.0%	84.0%	85.7%	0%	20.0%
合計	利用者数	679	942	68	383	262	313	7	46
	利用率	99.2%	98.1%	141.6%	79.8%	87.3%	93.1%	5.8%	25.5%

2 平成 28 年度月別入院及び外泊日数

単位：人

日

月	区 分	障 害 者 支 援 施 設	グ ル ー プ ホ ー ム ヴ ィ ラ サ ク ラ	グ ル ー プ ホ ー ム 山 楽 園
4	入院者数	1	0	1
	延入院日数	30	0	8
	外泊者数	15	7	7
	外泊延日数	47	38	29
5	入院者数	1	0	1
	延入院日数	30	0	23
	外泊者数	15	6	7
	外泊延日数	94	23	43
6	入院者数	2	0	1
	延入院日数	14	0	27
	外泊者数	10	6	3
	外泊延日数	59	36	20
7	入院者数	1	0	0
	延入院日数	28	0	0
	外泊者数	10	7	1
	外泊延日数	87	46	19
8	入院者数	3	0	0
	延入院日数	28	0	0
	外泊者数	27	11	9
	外泊延日数	111	70	49
9	入院者数	1	0	0
	延入院日数	15	0	0
	外泊者数	8	7	1
	外泊延日数	59	39	18
10	入院者数	1	0	0
	延入院日数	15	0	0
	外泊者数	13	6	4
	外泊延日数	76	40	31
11	入院者数	1	0	0
	延入院日数	30	0	0
	外泊者数	11	5	2
	外泊延日数	73	37	20
12	入院者数	1	0	1
	延入院日数	21	0	12
	外泊者数	22	9	4
	外泊延日数	99	63	29
1	入院者数	1	1	2
	延入院日数	24	5	33
	外泊者数	20	4	5
	外泊延日数	128	30	41
2	入院者数	1	1	1
	延入院日数	28	28	28
	外泊者数	8	3	2
	外泊延日数	55	21	32
3	入院者数	2	3	2
	延入院日数	37	37	45
	外泊者数	10	5	2
	外泊延日数	75	28	19

月	区 分	障 害 者 支 援 施 設	グ ル ー プ ホ ー ム ヴ ィ ラ サ ク ラ	グ ル ー プ ホ ー ム 山 楽 園
合計	延入院者数	16	5	9
	延入院日数	300	70	176
	外泊者数	169	76	47
	外泊延日数	963	471	350
	月当り平均入院日数	25	5.8	14.6
	月当り平均外泊日数	80.2	39.2	29.1

3 市町村別利用者数（年度末）

単位：人

市町村名	施設入所 支援	生活介護	短期入所	就労継続 支援事業 所 山光園	グループ ホーム グアイサクラ	グループ ホーム 山楽園	相談支援 事業所 山楽園	日中一時 支援事業	地域活動 支援事業
松江市	2	2	0	2	1	1	4	0	0
安来市	2	2	0	0	0	0	2	0	0
出雲市	9	12	0	1	0	0	12	0	0
雲南市	34	50	5	26	16	20	96	0	4
飯南町	1	2	0	1	0	1	18	0	0
奥出雲町	8	10	0	1	5	3	12	0	0
邑南町	1	1	0	0	0	0	1	0	0
計	57	79	5	31	22	25	145	0	3

4 退所者の状況

単位：人

区分	施設入所支 援	就労継続支 援事業所 山光園	グループホーム グアイサクラ	グループホーム 山楽園	計	備考
企業就職	0	0	0	0	0	
他施設利用	0	0	0	4	4	
長期入院	1	0	0	0	1	
家庭復帰	0	1	0	1	2	
死亡	0	0	0	0	0	
計	1	1	0	5	7	

5 医療保健

(1) 定期健診

単位：

検診内容	受検者数	要精密検査者	検診機関
内科検診	112	17	島根県環境保健公社
大腸がん検査	51	0	雲南市（島根県環境保健公社）
胃がん検査	10	0	雲南市（島根県環境保健公社）

(2) 感染症対策

イ) 予防対策

- ・各室に空気清浄機、加湿機を配備し、空気の浄化と加湿を行った。
- ・外泊する利用者に健康チェック表を持たせ、帰園時には家族季節性インフルエンザ、新型インフルエンザ、感染性胃腸炎の予防を念頭に、年間を通じて次の対策を実施した。
- ・ジアノック、サポステ等による廊下、トイレ、手すり、ドアノブ等、人の接触する部分の消毒を毎日行った。

ロ) 季節性インフルエンザ

- ・平成 28 年 3 月 28 日から 5 月 3 日の間に、職員 2 名がインフルエンザに罹患した。
5 月 2 日利用者 1 名が発熱の症状が見られ、インフルエンザに罹患した。
- ・産業医、支援施設嘱託医に報告し、指導を受けるとともに、感染症対策委員会を 5 月 6 日に開催し、感染拡大防止と予防対策を協議した。
- ・発症した利用者は、インフルエンザ検査を受けるとともに内服薬による治療を受けた。
また、発症した職員は医療機関の医師の指示に従って勤務につくまで休養をとった。
- ・職員及び利用者に対し、マスクの着用、手洗いの徹底を促した。
- ・平成 28 年 5 月 6 日は、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。

ハ) 感冒

・平成 28 年 8 月 16 日から 9 月 2 日の間に、利用者 20 名が、発熱・咳等の症状がみられた。

主治医より発熱者の発生が治まるまで感染拡大防止に努めるように助言があった。

- ・支援施設嘱託医に報告し、感染症対策委員会を 8 月 30 日、9 月 2 日に開催し、感染拡大防止と予防対策を協議した。
- ・発症した利用者は、インフルエンザ検査を受けるとともに内服薬による治療を受けた。
- ・職員及び利用者に対し、マスクの着用、手洗いの徹底を促した。
- ・平成 28 年 9 月 2 日は、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。
- ・平成 28 年 11 月 1 日から 11 月 9 日の間に、利用者が発熱・鼻汁・嘔吐・下痢等の症状がみられた。
- ・支援施設嘱託医に報告し、感染症対策委員会を平成 28 年 11 月 4 日、7 日、9 日に開催し、感染拡大防止と予防対策を協議した。
- ・平成 28 年 11 月 9 日は、新たな感染者も居なくなり、また、経過の状況から全員が回復したと判断した。

二) 感染性胃腸炎について

- ・予防対策等により、ノロウイルス等の感染症は本年度発生しなかった。

6 食事提供サービス

(1) 基本

栄養量は、日本人の栄養所要量食事摂取基準により、加重平均栄養量を求めて、性別、年齢、体位、生活活動強度、栄養状態、病状によって、個々に適正量を提供するよう努めた。

(2) 区分

イ) 一般食

高齢者食、若年者食、軟菜食、刻み食、ミキサー食、嚥下食

ロ) 治療食

糖尿病食、減塩食、肝臓食、肥満食、腎臓食、貧血食

(3) 食事の提供時間

イ) 障害者支援施設 山楽園

朝食 7:30~8:30 昼食 12:00~13:00 夕食 17:50~18:50

ロ) グループホーム 山楽園

朝食 7:00~8:00 昼食 12:00~13:00 夕食 18:00~19:00

ハ) 就労継続支援事業所 山光園

昼食 12:00~13:00

(4) 提供食事数

月	食 事 提 供 数	
	平成 27 年度	平成 28 年度
4 月	7,839	7,543
5 月	7,818	7,729
6 月	7,804	7,735
7 月	8,000	7,825
8 月	7,624	6,991
9 月	7,545	7,742
10 月	7,835	7,781
11 月	7,564	7,666
12 月	7,775	7,789
1 月	7,677	7,660
2 月	7,252	7,195
3 月	7,968	7,855
計	92,701	91,511

区 分	27 年度	28 年度
一日当り平均利用人数	84 人	82 人
年間食材費総計	27,948 千 円	30,675 千 円
1 人当り年間食材費	332 千円	374 千円
1 人 1 食当り平均食材費	303 円	341 円
1 人 1 日当り食材費	909 円	1,023 円

7 防災

(1) 総合防災訓練

実施日 平成 28 年 6 月 20 日 (月) 13:30~15:30

実施内容

ア、夜間における支援施設山楽園北棟乾燥室の出火を想定し、初期消火から避難誘導・避難誘導における安全確認に至るまでの一連の行動について事前に想定を開示した上で訓練を行った。(避難誘導・通報連絡・避難確認・安全確認)

イ、消火器を用いた消化訓練

ウ、屋内消火栓設備の使用法の研修

エ、防火扉の構造と役割、効果の確認

訓練参加状況

ア、指導機関	雲南消防本部予防課	2名
イ、協力機関	総合防災工業	1名
ウ、仁寿会職員		16名
エ、利用者		57名

(2) 定期避難訓練

毎月1回実施し、確実に短時間で避難ができるよう訓練を行なった。また、訓練に合わせ、建物及び消火器、消火栓等の自主点検を行った。

(3) 会議の開催

防災委員会を2回開催し、防災防火に関する対応及び総合防災訓練の手順等について協議した。

8 クラブ活動

(1) 生け花クラブ

受講 毎月1回
会員 10名
指導者 福田 明美

(2) 書道クラブ

受講 1週間に1回
会員 2名
指導者 佐野 孝山

9 当法人等の主催で実施した主な行事

(1) 第33回仁寿会スポーツ大会

期日 平成28年6月26日(日) 10時00分～12時00分
場所 障害者支援施設 山楽園(会議室、ディルーム、広場)
内容 体力・能力に応じた軽スポーツを行なった。
・開会式、閉会式
・RDチャレンジ・スカットボール・クロリティ・玉入れ
グランドゴルフ

(2) 納涼祭

期日 平成28年8月10日(木) 18時30分～20時00分
場所 障害者支援施設 山楽園 南棟DR及び駐車場
内容
ア、ステージイベント 職員及び利用者の踊り、カラオケ
抽選会、花火

10、ここおやし祭り実行委員会で実施した行事

(1) 第27回ここおやし祭り

期 日 平成28年10月23日(日) 10時00分～14時00分

場 所 障害者支援施設 山楽園 玄関前駐車場、訓練作業室

内 容

ア、出店

松笠蕎麦 蕎麦

松笠地区有志 焼き鳥、焼きそば、杵つきもち

松笠長寿会 酒、缶ビール、缶ジュース

松笠女性部 フランクフルト、おにぎり

利用者家族有志 芋羊羹販売

菅原自治会 芋煮

料亭かげやま うどん

就労継続支援事業所 パン、ラスク、豆腐、蒟蒻、油揚げ、

仁寿会 カレーライス、コーヒー、山菜おこわ、おでん

イ、ステージイベント

掛合太鼓ジュニア 和太鼓

日中活動グループ発表 踊り

彩華だんだん 歌踊り

陶山一座 安来節

ウ、作業訓練室 展示

松笠地区有志 手芸等各種作品展示

利用者 創作活動作品、生花作品展示

利用者書道クラブ 書道作品展示

11、障害者相談及び障害者相談支援センター

(1) 障害者相談支援

①サービス利用計画作成のモニタリング状況

月	件数	備考
4月	14件	
5月	13件	
6月	13件	
7月	7件	
8月	13件	
9月	17件	
10月	15件	
11月	13件	
12月	21件	
1月	8件	
2月	8件	
3月	30件	
計	172件	

(2) 障害者相談支援センター

相談件数 0件

4 共同生活援助事業

1, グループホームヴィラサクラ

(1) 利用状況

施設名	所在地	利用者数	世話人	生活支援員	サービス管理責任者	管理者
グループホーム ヴィラ サクラ	雲南市木次町東日登 261-1	3	2	—	1	1
グループホーム ヴィラ 佐中	雲南市掛合町掛合 2217-3	4	1			
グループホーム ヴィラ 松笠	雲南市掛合町松笠 1174-2	3	1			
グループホーム ヴィラ かすみ	雲南市掛合町多根 490	6	1			
グループホーム ヴィラ 佐白	仁多郡奥出雲町佐白 312-35	6	1			
グループホーム ヴィラ 古城	雲南市三刀屋町古城 1284	—	—			
グループホーム ヴィラ かじか	雲南市掛合町松笠 27-3	—	—			
計		22	6	—	1	1

ヴィラ古城・ヴィラかじかは、平成 27 年 12 月より休止していたが、利用の希望が無く平成 28 年 9 月 1 日から廃止した。

(2) 就労の状況

グループホーム名	ヴィラサクラ (木次)	ヴィラ古城 (三刀屋)	ヴィラ佐中 (掛合)	ヴィラかじか (掛合)	ヴィラ松笠 (掛合)	ヴィラかすみ (掛合)	ヴィラ佐白 (仁多)
就労先	山光園 3	—	山光園 2 せせらぎ 2	—	山光園 3	山光園 6	けやきの郷 3 ふきのとう 2 宇田川養鶏 1

(3) 防災対策

グループホームにおける防火対策として、7 月 11 日から 7 月 13 日までの間に各グループホーム毎に消防署の指導を受け、避難の訓練、消火器の使用方法等世話人及び利用者が参加して訓練を行った。

(4) 記録類の整備

支援記録を整備し、個別支援計画書に基づく計画的支援を行なった。

2, グループホーム山楽園

(1) 利用状況

施設名	所在地	利用者数	サービス管理責任者	生活支援員	世話人	警備員	管理者
グループホーム山楽園	雲南市掛合町松笠 2154 番地 1	20	1	4	3	2	1
グループホーム銀杏	雲南市掛合町掛合 941 番地 1	6		1	2	2	
計		26	1	5	5	4	1

(2) 就労の状況

施設名	グループホーム山楽園	人数	備考
就労活動の場	就労継続支援事業所 山光園	11	

(3) 防災対策

2ヶ月に一度、火災時及び土砂災害の避難訓練を実施した。

7月19日に消防署の指導を受け、避難の訓練、消火器の使用方法など、世話人及び利用者が参加して訓練を行った。

(4) 記録類の整備

支援記録を整備し、個別支援計画書に基づく計画的支援を行なった。

1 従来からの農林事業、パン工房、食品加工、受託作業を継続実施しました。

農林事業においては、炭窯の破損や薪の需要が減り、ピーマン栽培では連作障害の発生、水耕ネギにおいてはハウスの破損と生産減に繋がる原因が多数発生しました。食品加工、パン工房においては、原材料の高騰による製造範囲の縮小や、各種イベントへの参加が減ったことが売上の減少に繋がっています。また製造、維持管理の面から検討し味噌の加工、販売は終了しました。受託作業については、受注量の減少と利用者の高齢化から作業効率が低下し、工賃は伸び悩みとなりました。

2 就労支援事業 売上数量

作業種目	主な製品	前年度売上量	本年度売上量	比較増減(△)
食品加工	豆腐	28,059 丁	27,428 丁	△631 丁
	こんにゃく	5,660 枚	5,760 枚	100 枚
	油揚げ	13,184 枚	12,132 枚	△1,052 枚
	味噌	614kg	120kg	△494kg
	生揚げ	960 個	780 個	△180 個
受託作業	手帳ちぎり	204,046 箱	125,600 箱	△78,446 箱
	ファイルコマ付け	416 箱	313 箱	△103 箱
	唐辛子へた取り作業	150.0kg	0 kg	△150.0 kg
農林事業	木炭	4,960kg	2,329kg	△2,631kg
	薪	6,978 束	5,675 束	△1,303 束
	米	54 袋	58 袋	4 袋
	ピーマン	2,154 箱	660 箱	△1,494 箱
	水耕ネギ	1,169 箱	905 箱	△264 箱
パン工房	パン	50,932 個	44,501 個	△6,431 個
	ラスク	5,202 袋	3,443 袋	△1,759 袋

3 就労支援事業収支状況

単位：千円

事業所	種目	利用者	収支状況					収支差額	平均工賃 月/人	前年度平均工賃 月/人
			収入	支出額			計			
				原材料	経費	工賃				
就労継続支援事業所 山光園	食品加工部門	7人	5,301	1,752	1,421	1,962	5,135	166	21	20
	受託作業部門	10人	463	0	346	648	994	△531	5	5
	農林事業部門	6人	5,588	2,645	2,228	984	5,857	△269	14	24
	パン工房	8人	4,604	2,244	636	1,929	4,809	△205	20	17
合計		31人	15,956	6,641	4,631	5,523	16,795	△839	14	15

6 地域生活支援事業（公益事業）

1 受託事業

(1) 障害者相談支援事業

雲南市、飯南町より委託を受け次ぎのとおり事業を実施した。

支援方法

単位；回

相談方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会	関係機関	その他	計
平成27年度	387	114	78	416	79	83	385	237	1,779
平成28年度	410	114	72	382	114	120	391	339	1,899

(2) 地域生活支援事業

雲南市、飯南町、奥出雲町より委託を受け次のとおり事業を実施した。

	実施回数	参加延べ人数	事業概要
本人活動支援事業	13回	287人	障害者間交流事業 ・研修旅行 ・ふれあい交流会 ・クリスマス交流会
地域生活支援事業（生活訓練等事業）	3回	109人	・菓子作り ・野菜たっぷり親子井作り
地域生活支援事業（スポーツ・リクリエーション事業）	3回	113人	・軽スポーツ大会

(3) 障害支援区分認定調査委託

雲南市より委託を受け次のとおり実施した。

事業内容	実施件数
県内在住者調査	11件
施設内在住者調査	5件

1 苦情処理

- ① 利用者からサービスに対する苦情 0件
- ② 利用者から職員の態度に関する苦情 0件
- ③ 家族からサービス及び報告等に関する苦情 0件
- ④ 利用者同士の争いによる苦情 0件
- ⑤ その他の苦情 0件

2 成年後見人制度利用者

被後見人 17名（第三者 6名 親族 11名） 対前年比 1名減
被保佐人 1名（第三者 1名）

3 日常生活自立支援事業利用者

実施者 雲南市社会福祉協議会
利用者 6名 対前年比 1名増